

平成29年度 事務事業評価（案）

（事務事業マネジメントシート、事務事業管理シート）

調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成	・ ・ ・ ・	1
住宅施策の推進	・ ・ ・ ・	4
連携によるまちの経営	・ ・ ・ ・	10

事務事業の概要

事務事業名	都市計画策定費				予算事業番号	27001
所管名	都市建設部都市計画課都市計画係				所管番号	350101
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等	都市計画法、景観法					
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり			区分	調和のとれた土地利用の推進
	施策の方向性	市民が豊かな自然を実感でき、自然と調和した住環境のなかで、快適に生活することができるような土地利用を進める必要があります。 また、景観の保全や魅力ある景観を創出することで、まちの魅力を高め、個性ある住みよいまちづくりを実現していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市土	が	恵まれた自然環境と都市生活・都市活動との調和が保たれた状態になることを目指す。
----	----	---	---



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容		・都市計画基礎調査(新)・都市計画の決定・変更に関する協議・手続き・都市計画審議会の運営・立地適正化計画の策定・団地再生等都市再生に関する業務(主管課:秘書政策課、関連課:都市計画課外)・景観計画・条例の運用、景観まちづくりの推進・歴史的風致維持向上計画の策定・唐津街道に関すること(原町、赤間宿)					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	都市計画決定(変更)手続き率	決定(変更)件数／予定件数	%	-	100	100	100
	景観重要施策の決定件数	件数	件	2	0	0	2
活動指標	都市計画決定(変更)手続き数	予定件数	件	3	23	6	
	景観まちづくり検討委員会の開催(H26年度～景観審議会に移行)	開催回数	回	3	0	0	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		前年度比	
事業費(千円)		12,800	9,952	21,447		11,495	
特定財源(千円)		0	0	1,582		1,582	
一般財源(千円)		12,800	9,952	19,865		9,913	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	都市計画決定及び景観推進の取組みは市民生活の利便性や景観意識の向上といった成果があり、施策の方向性である「調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成」の推進に繋がった。	既存の都市機能や資源を活かした「コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市」の実現のため、さらなる都市機能の誘導や歴史的風致の保全が必要である。そのため、立地適正化計画及び歴史的風致維持向上計画の推進に取り組んでいく。
活動指標	↓		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	景観施策推進体制の整備	景観まちづくりモデル事業を実施し、市民の意識醸成を図るとともに、景観まちづくりを進めるための手法の検討を行った。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	屋外広告物規制事業					予算事業番号	30008
所管名	都市建設部維持管理課管理係					所管番号	350402
事務区分	その他事務		事業期間	H 17 年度 ～ H 年度		終了見込有無	
根拠法令等	屋外広告物法、宗像市屋外広告物条例						
第2次宗像市 総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成		区分	魅力ある景観の形成
	施策の 方向性	市民が豊かな自然を実感でき、自然と調和した住環境のなかで、快適に生活することができるような土地利用を進める必要があります。 また、景観の保全や魅力ある景観を創出することで、まちの魅力を高め、個性ある住みよいまちづくりを実現していきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	違法な屋外広告物	が	良好な都市景観を保持するため、無くなる。
----	----------	---	----------------------



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容		屋外広告物の規制:屋外広告物許可及び違反広告物の除却					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	除却件数	違反広告物の除却件数(年)	件	1,529	1,005	1,089	1,000
活動指標	除却回数	違反広告物の除却回数	回	4	4	4	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比		
事業費(千円)		441	1,541	412	▲ 1,129		
特定財源(千円)		441	0	0	0		
一般財源(千円)		0	1,541	412	▲ 1,129		



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	違反広告物の除却の取組みは、景観の保全や魅力ある景観を創出し、まちの魅力を高めるといった成果があり、施策の方向性である「良好な都市景観の保持」の推進に繋がった。	良好な景観を向上させるためには、違反広告物への適正な指導が必要である。そのため、今後はパトロールの強化に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
都市ブランドの推進	地域性に応じた規制をすることで、周辺景観との調和や安全性を確保する。	景観重点地域について、広告設置者及び土地所有者と違反広告物との認識を理解して頂けるよう撤去へ向け根気よく協議を行っている。また、許可可能な地域については、市屋外広告物条例に基づき、適正な管理を行い、良好な景観を保った。

施策名：調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費（千円）		
					指標名	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向
1	都市計画一般事務	都市計画課 都市計画係	調和のとれた土地利用と魅力ある景観形成を図るため、開発行為及び建築行為を行うものに対して法令等に沿った指導・助言を行う。また、建築紛争予防のために、当該条例に沿った指導を行う。	・開発行為の許可基準に沿った指導及び助言 ・土地区画整理事業に係る関係機関との調整及び手続き ・建築確認申請書に必要な調査報告書の作成 ・市街化調整区域における建築行為に対する指導及び助言 ・景観計画及び景観条例に基づく指導及び助言 ・中高層建築物等の建築に際して近隣住民と紛争が起きないよう建築主等に対する指導 ・その他、都市計画課一般事務	建築確認申請調査報告書作成件数	件	163	152	↓	826	1,992	↑
2	国土利用計画法等事務	建設課 用地補償係	市域内の土地が、国土法、公拡法によって総合的、計画的な土地利用が図られる。	国土利用計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出書の受付事務処理及び県知事への意見書の作成・提出を行うとともに、県の委託を受けて法に違反して届出を行わない者の調査を行う。	処理件数	件	33	36	↑	0	0	→

事務事業の概要

事務事業名	住宅相談事業				予算事業番号	28005
所管名	都市建設部建築課建築係				所管番号	350202
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等	宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例					
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	住宅施策の推進	区分	快適な居住環境の充実
	施策の方向性	安全で安心、そして快適な居住環境に対する相談体制の充実や整備に加え、空き家の増加などによる住宅地の賑わいの低下や防犯上の問題などに対応するための取組みを行っていきます。 また、賑わいの創出と市民が安全、安心して生活することができるよう、住宅開発の誘導や既存住宅地を再生するための事業を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	市内在住または、宗像市に転入しようと考えている人	が住宅に関する不安や悩みを速やかに解消することが出来る。



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H29年度の活動内容		誰もがいつでも安心して住宅に関する相談ができる窓口「住まいと暮らしの情報センター」を開設（年間130日）した。昨年度と比較し、開設日数、相談可能な業務を拡大し、より充実した相談体制を整えることができた。併せて、制度周知のために、回覧チラシの配布、一般広報紙への掲載、ホームページの更新、イベントでのPR活動を積極的に行い、さらなる認知度向上を図った。また、住まいに関する研修会の開催や国県などの新しい取り組みについて相談員と情報共有し、相談員の能力向上を図った。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	住宅相談窓口での相談件数	住宅相談窓口で相談を受けた件数	件	351	334	387	360
		上記のうち解決に至った割合	%	85	84	84	95
活動指標	広報及びホームページの掲載件数	広報やホームページに掲載した件数	件	39	39	35	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		前年度比	
事業費(千円)		1,949	2,058	2,275		217	
特定財源(千円)		663	875	442		▲ 433	
一般財源(千円)		1,286	1,183	1,833		650	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	成果指標である相談件数は、イベント時のPR、様々な周知活動等の実施により認知度向上が図られ増加した。また、事業費については事業拡充を図ったことが要因となり、対前年比217千円増額した。	住宅相談窓口開設の取組みは、住宅に関する不安や悩みを速やかに解消するといった成果があり、施策の方向性である「安心・安全な住生活」の推進に繋がった。	相談者に占める子育て世代や若年世代の割合が少ない状況である。相談件数を向上させるためには、子育て世代や若年世代への認知度向上が必要である。そのため、今後もPR活動の検討に取り組んでいく。
活動指標	↓			
事業費	↑			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	住宅相談窓口業務を委託します。	一般社団法人住マイむなかたへ相談窓口開設業務(開設日数130日)を委託した。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	子育て世代に対し、住機能の面から子どもにやさしく子育てしやすい住宅の情報や、子育て世代を対象とする各種住宅関連助成制度の情報を提供します。	「親子で楽しくDIY」のタイトルで体験型のイベントを開催する等し、子育て世代や若年世代へPRを行った。

事務事業の概要

事務事業名	住生活基本計画推進事業					予算事業番号	28015
所管名	都市建設部建築課建築係					所管番号	350202
事務区分	法定受託事務	事業期間	H 24 年度 ～ H 34 年度		終了見込有無	有	
根拠法令等	住生活基本法						
第2次宗像市 総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	住宅施策の推進		区分	快適な居住環境の充実
	施策の方向性	安全で安心、そして快適な居住環境に対する相談体制の充実や整備に加え、空き家の増加などによる住宅地の賑わいの低下や防犯上の問題などに対応するための取組みを行っていきます。 また、賑わいの創出と市民が安全、安心して生活することができるよう、住宅開発の誘導や既存住宅地を再生するための事業を行っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市内在住の方や市外在住で転居を検討している人	が	住み続けたい、または住んでみたいと感じる。
----	------------------------	---	-----------------------



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容		宗像市住生活基本計画に基づき、セミナーやイベント等事業を実施した。また、宗像市住生活基本計画の変更（見直し）については、国・県・県内他市町の動向調査及び内部協議の結果、H30年度の計画変更を見送った。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	居住に関する満足度	現在の住宅に満足している人の割合	%	79	78	76	69
		今の住宅に住み続ける人の割合	%	73	69	72	79
活動指標	行動計画に基づく推進事業の実施回数	行動計画に基づき、各推進事業を実施した回数	回	4	4	4	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		前年度比	
事業費(千円)		574	353	336		▲ 17	
特定財源(千円)		0	0	0		0	
一般財源(千円)		574	353	336		▲ 17	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	セミナー等の取組みは中古住宅の利活用に関する情報を提供し利活用を促進するといった成果があり、施策の方向性である「既存住宅の再生」の推進に繋がった。	中古住宅は利活用コストが少ない程、流動化が図りやすい。利活用を促進させる為にも活用方法の情報提供に積極的に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	学識者・有識者・市民代表等と協働により、様々な居住環境整備等の検討を行い、宗像市住生活基本計画の変更について協議していきます。	国・県・県内他市町の動向調査を実施し、内部で協議した結果、H30年度の計画変更は見送った。
	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	リフォーム、リノベーション、防犯、耐震化等のセミナー開催及び、各種助成制度の周知等を行う事により、中古住宅の利活用を促進し、子育て世帯への良質な住宅供給の普及、安心安全な住生活の推進を支援していきます。	「マイホーム借上制度」説明会、「親子で楽しくDIY」といったイベント等を開催した。

事務事業の概要

事務事業名	花、緑のあるまちづくり事業費				予算事業番号	27004
所管名	都市建設部維持管理課道路公園係				所管番号	350401
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	住宅施策の推進	区分	快適な居住環境の充実
	施策の方向性	安全で安心、そして快適な居住環境に対する相談体制の充実や整備に加え、空き家の増加などによる住宅地の賑わいの低下や防犯上の問題などに対応するための取組みを行っていきます。 また、賑わいの創出と市民が安全、安心して生活することができるよう、住宅開発の誘導や既存住宅地を再生するための事業を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	道路や公園などの公共空間にいる人	が たくさんの花が咲いている花壇などを目にすることで豊かな居住環境を実感できる状態。



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H29年度の活動内容		夏季と冬季の2回、それぞれの季節に適した花苗約154,000本をコミュニティや市民活動団体などへ配布し、それぞれの地域へ植えつけをしてもらった。花苗を配布した参加団体から優秀な花壇・プランターを表彰する「花いっぱいコンクール」を11月に開催した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	配布した花苗の数		本	171,000	171,000	154,000	171,000
活動指標	花いっぱい運動参加団体数		団体	143	140	127	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比		
事業費(千円)		7,171	6,966	6,264	▲ 702		
特定財源(千円)		0	0	0	0		
一般財源(千円)		7,171	6,966	6,264	▲ 702		



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	花苗配布数は減少したが、参加団体の管理する花壇を花でいっぱいにする事で、施策の方向性である「快適で豊かな居住環境」の推進に繋がった。	「快適で豊かな居住環境」を形成するためには、多くの参加者や花壇が必要である。そのため、今後は参加団体の増加を目指し、「花いっぱい運動」のPRに取り組んでいく。
活動指標	↓		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	市民活動団体やコミュニティ運営協議会などと協働し、市街地の緑化を推進し、いやし・うるおいのある住環境を形成します。	市民活動団体やコミュニティ運営協議会などが「花いっぱい運動」に参加することにより、地域の住環境にいやし・うるおいを与えることができた。
	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	自然と都市が調和した景観を形成し、魅力ある住環境を提供するため、不特定多数の方々が鑑賞出来る場所に多くの花が咲いている状態にします。	年2回の花苗配布により、公共空間に面した花壇を一年を通じて多くの花が咲いている状態にできた。

事務事業の概要

事務事業名	定住化推進事業				予算事業番号	11001
所管名	都市戦略室秘書政策課秘書政策係				所管番号	390101
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	住宅施策の推進	区分	快適な居住環境の充実
	施策の方向性	安全で安心、そして快適な居住環境に対する相談体制の充実や整備に加え、空き家の増加などによる住宅地の賑わいの低下や防犯上の問題などに対応するための取組みを行っていきます。 また、賑わいの創出と市民が安全、安心して生活することができるよう、住宅開発の誘導や既存住宅地を再生するための事業を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	新婚世帯や子育て世帯などの若い世代	が「住んでみたい」と思うまちづくりに向けて、総合的な定住化施策を全庁的に推進し、若い世代を中心とした人口増を目指す。



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H29年度の活動内容	「住んでみたいまち宗像推進計画」に基づき居住環境の更なる充実に取り組むとともに、子育て世代や新婚世帯など若い世代の方々へのまちの魅力発信や住宅取得等補助制度の周知等を推進し、本市への居住を誘導した。また、住宅ストックの利活用を進めるため、空き家空き地バンクの活用や住宅相談事業等の実施、不動産物件の掘り起しなど住宅市場の活性化に向けた取り組みを強化した。結婚を希望する男女の出会いの場創出支援事業を新たに行い、将来的な定住者確保を目指した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H27年度	H28年度	H29年度	H31年度	
成果指標	生産年齢人口	人	56,996	56,399	56,004	55,000	
	子育てしやすい都市イメージの向上	%	34.2	—		70	
活動指標	メディアを活用した定住PR回数	回	20	18	16		
	空き家・空き地バンク成約件数	件	16	24	19		
			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比	
事業費(千円)			255,413	317,241	315,988	▲ 1,253	
特定財源(千円)			63,092	115,992	76,001	▲ 39,991	
一般財源(千円)			192,321	201,249	239,987	38,738	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	活動指標の定住PR回数は例年並みの活動。空き家・空き地バンク成約件数は前年を下回ったが比較的高い成約件数実績を残した。成果指標は、大きな変動がない。	新規住宅団地開発がない中、定住補助制度やPR事業等を地道に推進してきた結果、社人研人口予測に反し、人口微増を確保している。空家対策事業に関しては本年度に強化したことがすぐには効果として現れないが次年度以降に物件掘おこしに繋がることを期待。	若い世代の市内居住を直接的に誘導するため、引き続き補助制度を効果的に活用していく。定住PRに関しては地方移住に対する関心が高まっている状況を捉え、都市部の若者に対するPR事業の強化を図る必要がある。
活動指標	↓			
事業費	↓			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	既存住宅ストックの利活用のため、企業や大学などと連携して、若い世代に好まれる空き家のリノベーションを研究する。	住宅ストック利活用促進に向け住マイむなかつのほか民間企業や大学等と連携した取り組みを強化した
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	空き家のリノベーション事例や子育て世代の宗像暮らしを紹介するなど、若い世代の目線で団地の魅力を情報発信する。	新聞広告等により、本市のまちの魅力のPR等に取り組んだ

事務事業の概要

事務事業名	都市戦略推進事業(団地再生調査研究)						予算事業番号	11009	
所管名	都市戦略室秘書政策課秘書政策係						所管番号	390101	
事務区分	その他事務		事業期間	H 26 年度 ~ H 年度		終了見込有無	無		
根拠法令等									
第2次宗像市 総合計画	政策	調和のとれたまちづくり			施策	住宅施策の推進		区分	団地の再生
	施策の方向性	安全で安心、そして快適な居住環境に対する相談体制の充実や整備に加え、空き家の増加などによる住宅地の賑わいの低下や防犯上の問題などに対応するための取組みを行っていきます。 また、賑わいの創出と市民が安全、安心して生活することができるよう、住宅開発の誘導や既存住宅地を再生するための事業を行っていきます。							

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	日の里団地をはじめとし、昭和40年ごろから開発された住宅団地	が 団地再生事業として、本市がどのような取組をどのような手法で実施すべきかを明らかにし、具体的な取組の方向性を示す。

H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。								
H29年度の活動内容		立地適正化計画策定を年度内に終了した。 「CoCokaraひのさと」の賑わい創出事業の拡充やパークアンドライド事業の推進、住民の住み替えや住宅の建て替え等の緩やかな誘導等に取り組んだ。また、UR日の里団地の一部住棟の活用検討や地域医療福祉拠点化に向けた取り組み、高齢者の生きがいがいづくりや多世代交流の機会の充実など、UR都市機構や民間事業者と連携した取り組みを強化した。						
		指標名		指標の説明・算定式		単位	実績	
					H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	空き地(数)	独自調査		区画	1,197	761	調査未実施	685
	新築及び中古住宅取引引き件数(件数)	独自調査		件	610	543	543(見込値)	600
活動指標	地域との意見交換(回数)	住民説明・ワークショップ・個別協議等の実施回数		回	4	6	15	
		H27年度決算		H28年度決算		H29年度決算		前年度比
事業費(千円)		15,865		29,482		11,467		▲ 18,015
特定財源(千円)		15,706		7,950		1,750		▲ 6,200
一般財源(千円)		159		21,532		9,717		▲ 11,815

H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	本事業の取組みは長期的な視野を持って一定人口を確保することを目指すものであり、賑わいつくりや普及啓発等により少しずつではあるが住宅ストックの利活用促進に繋がっている。	住民の住み替え等を促進させるためには、住宅ストックの多様な利活用を促す必要がある。そのため、今後は民間事業者や有識者との連携についても強化していく必要がある。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	セミナー事業等により、不動産所有者に対して住宅ストックの利活用を促し、空き家・空き地の減少に努めます。	住宅ストックの利活用を促進するため、住マイむなかたのほか関係機関等との連携体制を構築し、多様な空き家活用方策を示した
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容 既存住宅ストックの利活用促進に向け、リノベーションなど民間事業者の活発な活動を促すための企業連携や試行事業等を推進します。	H29年度の取組内容に対する実績 一戸建て住宅やマンションのリノベーションの活用方策を探るため、積極的にワークショップ事業等により啓発を実施した

施策名：住宅施策の推進（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費（千円）		
					指標名	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向
1	住居表示事業	市民課 市民係	住居表示を実施すべき市街地において、住所をわかりやすくするため、住居表示や字の区域の変更を行う。	住居表示事業は主に管理事業を行い、新規に住居表示や字の区域の変更等の要望があれば、事業体制を整え実施する。	住居番号の設定件数	件	137	153	↑	36	50	↑
2	住居表示等維持管理事業	市民課 市民係	・住居表示を実施すべき市街地において、表示板の新設や張替えを実施する等適正な維持管理を行うことにより、より分かりやすい街区を目指す。	表示板の維持管理にかかる現況調査及び、表示板の設置を行う。	表示板の設置件数	件	10	5	↓	10	59	↑
3	一般住宅（大島地区市営住宅）ストック活用事業	建築課 住宅係	大島地区内の民間空き家が、一般住宅（市営住宅）として運営することにより、効率的かつ円滑な運用を図ることができる。	大島地区内の一般住宅（やのお、町、あけぼの、新前田）の代替住宅として利用可能な民間空家、公共施設等の利活用計画を作成する。	空き家関係者・関係機関との協議回数	回	12	4	↓	1,886	4,056	↑

事務事業の概要

事務事業名	企画一般事務				予算事業番号	7009
所管名	経営企画部経営企画課企画係				所管番号	310101
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	連携によるまちの経営	区分	地域資源の連携の推進
	施策の方向性	近隣自治体など市外の組織との広域的な連携や市民、市民活動団体、コミュニティ運営協議会、大学、企業、行政などの地域資源の相互連携により都市経営の強化を図っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	庁内各部署及び当該事業の実施に係る関係者	が 市が抱える課題や社会的課題に対応するための施策や、効果的かつ効率的な事業の提案、実施ができる状態になることを目指す。



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H29年度の活動内容		市が抱える課題や社会的課題に対して、経営会議等関係会議を通じた庁内調整及び、宗像地区一部事務組合、近隣自治体等との連携調整などを行い、課題解決のための施策や事業の調査研究、実施に取り組んだ。 また、政策的な調査研究として、駅名変更に関する調査に着手した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標							
活動指標	庁内調整事業件数	経営会議協議案件数	件	24	35	49	
	広域連携協議体数	経営企画課所管の自治体広域連携協議体数	件	5	5	5	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		前年度比	
事業費(千円)		3,919	2,125	3,990		1,865	
特定財源(千円)		207	155	1		▲ 154	
一般財源(千円)		3,712	1,970	3,989		2,019	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	様々な案件を経営会議等で協議することにより、事業実施にあたっての庁内調整や事業のスムーズな進捗がはかられた。 他自治体との広域連携についても、協議体数自体は変わらないものの、具体的な連携事業は、新規に3件実施した。	庁議、経営会議等の庁内会議の役割を整理し、さらに活発な議論ができるような体制を構築する。 他自治体との連携においては、さらに議論を活発化し、それぞれの抱える問題の解決が図られるような取組を実施していく。
活動指標	↑		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	三大学連携事業					予算事業 番号	13006
所管名	市民協働環境部コミュニティ協働推進課政策係					所管番号	321001
事務区分	その他事務	事業期間	H 18 年度 ～ H 年度		終了見込有無	無	
根拠法令等							
第2次宗像市 総合計画	政策	みんなで取り組むまち づくり	施策	連携によるまちの経営		区分	地域資源の連携の推進
	施策の 方向性	近隣自治体など市外の組織との広域的な連携や市民、市民活動団体、コミュニティ運営協議会、大学、企業、行政などの地域資源の相互連携により都市経営の強化を図っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市内3大学と2高校	が	- 市内3大学との連携により、知的資源や専門性が活かされたまちづくりを行う。 3大学と2高校及び市との連携事業が実施される。 - まちづくりを担う専門的な人材が育成される。
----	-----------	---	--



H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容		・「むなかた大学のまち協議会」を運営し、賛助会員である2高校も含め、連携・支援事業を実施した。 ・「大学のまちゼミナール」を企画・実施し、各大学の機能や特色を活かした公開講座や交流事業など大学のチカラをまちづくりに活かした。 ・地域の活性化に関する事業を3件実施した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
成果指標	受講者数	むなかた大学のまちゼミナール公開講座受講者数	人	151	86	72	200
	連携事業数	連携事業種別数	件	12	15	10	15
活動指標	事業実施数	むなかた大学のまち協議会連携会議等実施数	回	6	6	6	
		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算		前年度比	
事業費(千円)		50	50	50		0	
特定財源(千円)		0	0	0		0	
一般財源(千円)		50	50	50		0	



H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因			
成果指標	↓	成果指標であるむなかた大学のまちゼミナール公開講座受講者数は減少した。連携事業種別数はこれまで15分類していたものを10分類に統合した。	三大学と連携することで、市民向けの公開講座、子どもまつり等の各種イベント、各種協議会事業を充実した内容で実施することができた。	むなかた大学のまちゼミナール公開講座受講者数が減少傾向にあるため、次年度は開催場所や開催時期等について見直しの検討を行う。
活動指標	→			
事業費	→			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	地域課題の解決に向け、大学が持つスキルやノウハウ、大学生ボランティアを活かした取組ができるよう、イベント支援や情報発信により連携と協働の機会を創出します。	コミュニティ運営協議会、市民活動団体等と大学とが主体的に連絡調整し、学生ボランティア等が活用され、協働が進展した。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	子育てや暮らしに対するニーズに大学が持つスキルやノウハウを活かせる取組を推進するとともに、その周知に努めます。	各種分野にわたる課題解決のため、附属機関委員への就任、市との協働事業・研究等が行われるとともに、大学のまちゼミナールなどの公開講座を実施した。